

【速報版】

学校における各種通信の実態と 教育効果に関する調査研究報告

2017年3月25日

公益
財団法人 理想教育財団

お問い合わせ

公益
財団法人 理想教育財団

☎03-3575-4313
<http://www.riso-ef.or.jp/>

〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル 1 号館 9 階

はじめに

公益財団法人理想教育財団(東京都港区)では、学校において、先生方と子どもたち、学校と家庭、そして地域社会とのよりよいコミュニケーションを目指して発行されている学級通信、学年通信、学校だよりなど各種通信を広く紹介することを目的として、2005年から毎年、各種通信の公募の場「プリントコミュニケーションひろば」を提供してきました。

その実績を踏まえ、今後ますますIT化、SNS化が進むであろう教育環境にあって、従来から広く活用されている紙(印刷)媒体の通信に焦点を当て、その実態調査を行いました。学校現場における現在の発行状況、通信の果たしている役割と教育効果、さらには作成・発行を担当する先生方の悩みや課題を含め、通信を通して見えてくるさまざまな状況、問題点、今後の可能性などが明らかになりました。ここに現時点での調査結果の速報版をお届けします。

本調査研究を担った「学校における各種通信の実態と教育効果に関する調査研究会」のメンバーは以下のとおりです。

富安 敬二（立教大学名誉教授）

吉成 勝好（新聞教育支援センター代表）

小林 正幸（東京学芸大学教育実践研究支援センター教授）

井上 大輔（新宿区立天神小学校主幹教諭）

五十嵐秀隆（公益財団法人理想教育財団事務局長）

調査の概要

1. 調査目的

全国の学校現場における「学級通信」「学年通信」「学校だより」の発行状況と動向を調査し、先生の多忙化が叫ばれるなか、通信発行にともなう障壁や問題点、発行の妨げとなっている要因（通信を発行していない場合はその要因）を明らかにすることにより、その課題解決の方向性や各種通信を作成・発行しやすい環境のあり方などを探る。さらに、通信が担っている役割や教育的意義と教育効果の可能性を展望し、教育活動をより活性化させることを目的とする。

2. 調査方法

質問紙(郵送)によるアンケート調査。

※調査協力依頼状およびアンケート用紙は、P.14 以降に掲載。

3. 調査実施時期

平成 28 年 2 月 1 日～2 月 29 日。

4. 調査対象

対象者は、全国の国公立小中学校 6,101 校*（小学校 4,000 校、中学校 2,101 校）に在籍する一般教諭および管理職（校長、副校長・教頭、教務主任等）。対象者の抽出にあたっては、在籍校の規模にかたよりのないよう、小規模校・中規模校・大規模校のバランスにも留意した。

*当財団主催「プリントコミュニケーションひろば」に応募実績のある私立学校 5 校を含む。

5. 調査項目

【一般教諭対象調査】

学級通信、学年通信の発行状況および発行者としての思いや悩み。

【管理職対象調査】

学校だよりの発行状況および学級通信と学級経営との関係について。

【保護者対象調査】 ※現在集計中。後日速報をリリースします。

小中学校に在籍する児童・生徒の保護者は学級通信をどう読んでいるか。

6. 回収結果（有効回収数・回収率）

		小学校	中学校	その他	合計
一般教諭	有効回収数	2,062	1,028	120	3,210
	回収率	10.3%	9.8%	—	10.5%
管理職	有効回収数	1,197	642	—	1,839
	回収率	6.0%	6.1%	—	6.0%

7. 調査結果の主な概要

(1) 発行率：「学級通信」77%（P.5 参照）、「学年通信」68%、「学校だより」96%（P.7 参照）

“学校の顔”ともいるべき学校だよりは、ほぼ全校に近い96%の発行率。残る4%の学校では「HPに移行した」などの書き込みもまれにみられたが、現時点では、学級通信、学年通信、学校だよりも紙媒体の人気は根強いものがあり、「まだHPだけにできる状況ではない」「HPにはないアナログのよさがある」などの意見も少なくなかった。そのため現状では、「通信とHPの併用で情報発信に努めている」学校が多くを占めていると思われる。

(2) 発行頻度：学級通信は「週1回」42%が最多（P.6 参照）

学年通信は「月1回」68%がダントツ（P.6 参照）

学校だよりは「月1回」74%が圧倒的多数（P.7 参照）

(3) 学級通信の作成時間：最多は「1時間」50%（P.8 参照）

次いで、「2～3時間」30%、「30分」18%の順。

(4) 学級通信の作成にかかる負担感：約6割が「多少感じる」（P.8 参照）

次いで、「あまり感じない」30%との回答が多数を占め、「とても感じる」は9%と少数派であった。

(5) 4～5人に1人の先生が勤務時間外に作成（P.9 参照）

「夜に学校で」「帰宅後」「休日」に作成すると答えた先生が、小学校 28%、中学校 20%。小中とも4～5人に1人の先生が勤務時間外に通信づくりを行っていることがわかった。

(6) 学級通信の役割と効果とは？（P.12～13 参照）

通信の役割と効果として、一般教諭は「学校・学級での子どもの様子や出来事を伝える」、管理職は「保護者の理解・協力・信頼・連携を得られる」をトップにあげた。

通信をめぐる状況は、教職員の多忙化、インターネットの進展などにより大きく変わりつつあるが、現場の先生方は通信の発行に関して、それらの課題や問題点をはるかに超える大きなメリットを実感していることが本調査結果によって明らかになった。

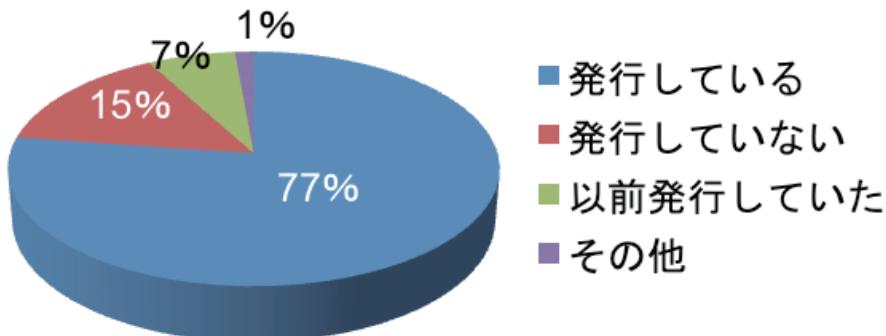
※平成29年度中に、本調査研究報告（確定版）を発表する予定です。現在、集計・分析中の「保護者対象のアンケート調査」結果も含め、本調査結果のさらなる分析により、将来の通信、そして学校における情報発信のあり方はどうあるべきか、その方向性を探っていきたいと考えています。ご期待ください。

調査結果のポイント（速報版）

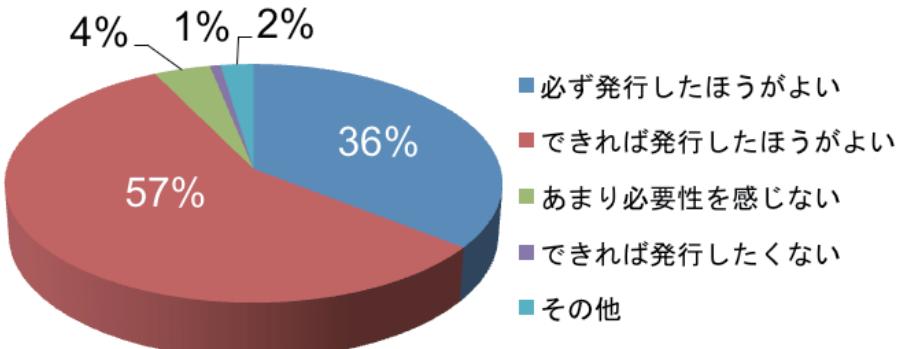
① 学級通信を「発行したほうがよい」93%、 だが、実際の発行率は77%

学級通信を発行している先生の割合は 77% であった。これを高いとみるか低いとみるかの判断は難しいところだが、一方、「学級通信は発行したほうがよいと思いますか？」という質問に対しては、「必ず発行したほうがよい」 36%、「できれば発行したほうがよい」 57%、合わせて 93% の先生が「発行したほうがよい」と回答している。両者のギャップは 16% となり、これについてはさらに分析が必要と思われる。

学級通信の発行率



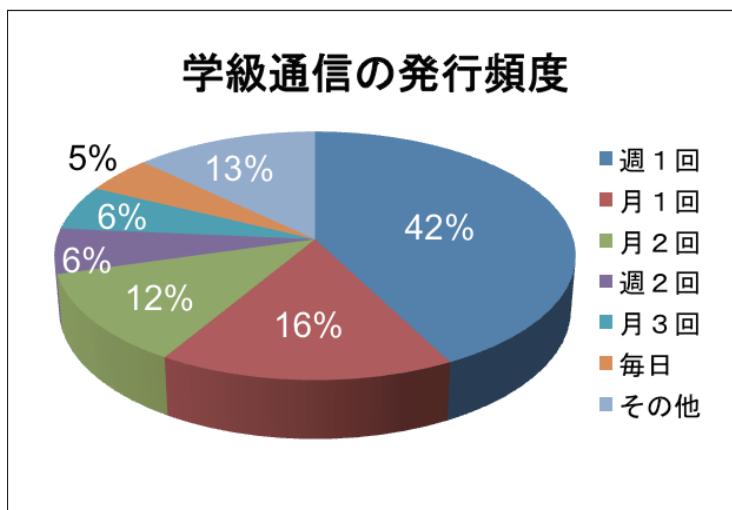
学級通信は発行したほうが よいと思いますか？



② 学級通信の発行頻度、42%の先生が「週1回」と回答

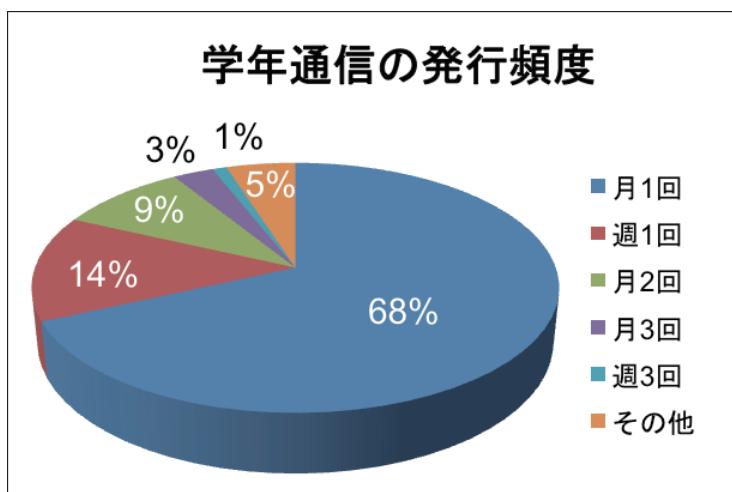
学級通信は、一般にどれくらいのペースで発行されているのだろうか。発行頻度について質問したところ、回答のトップ5は、1位「週1回」42%、2位「月1回」16%、3位「月2回」12%、4位「週2回」6%、5位「月3回」6%であった。

なかには、「毎日」(5%)という回答もあり、その熱心さには頭が下がるが、一方で、「毎日のように発行すると保護者にとって読むのが苦痛になるとの意見も聞いた。そこで週1回くらいがこちらの負担も軽くなり、保護者にとってもよいと思う」という書き込みもみられた。マメに出せば出すほどよい、とは一概にいえないというところだろうか。



学年通信の発行頻度は、1位の「月1回」68%が圧倒的多数を占め、次いで「週1回」14%、「月2回」9%、「月3回」3%、「週3回」1%の順であった。

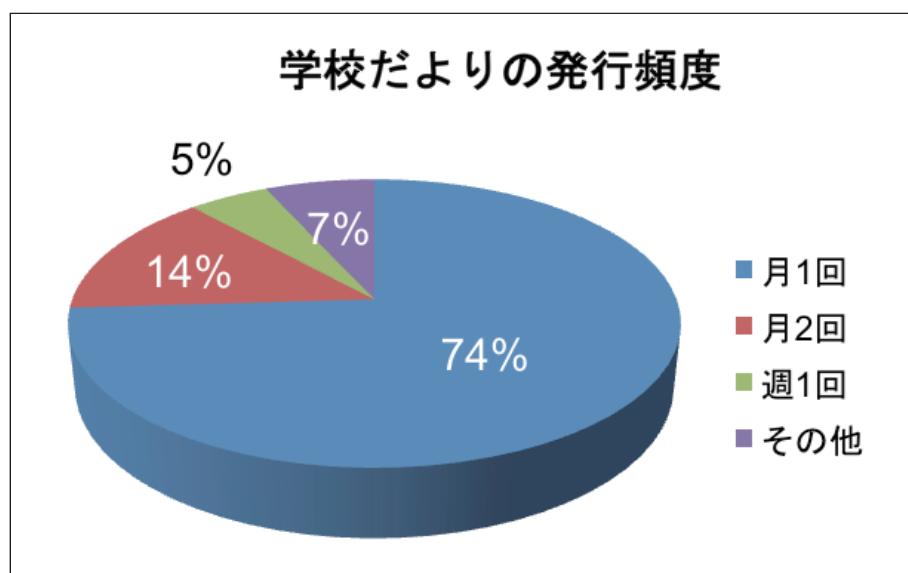
学年通信は、学年全体を通じた大きくくりでの情報提供や連絡・報告などを行うため、発行頻度は学級通信より少なめが一般的だ。ただし最近は、先生方の負担軽減策として学級通信を廃止し学年通信に一本化する動きが出てきており、その場合は週刊で発行するなど、学級通信に準じる頻度になることが多いようだ。



③ 学校だよりの発行率 96%、発行頻度は「月1回」が74%

学校だよりを「発行している」と答えた学校は、96%に上った。学級通信の発行率 77%、学年通信 68%を大幅に上回り、保健だより 99%（877校中867校発行）に次ぐ高い発行率となっている。それだけ学校だよりが、子どもや保護者に向けた欠かせないメディアになっているということだろう。

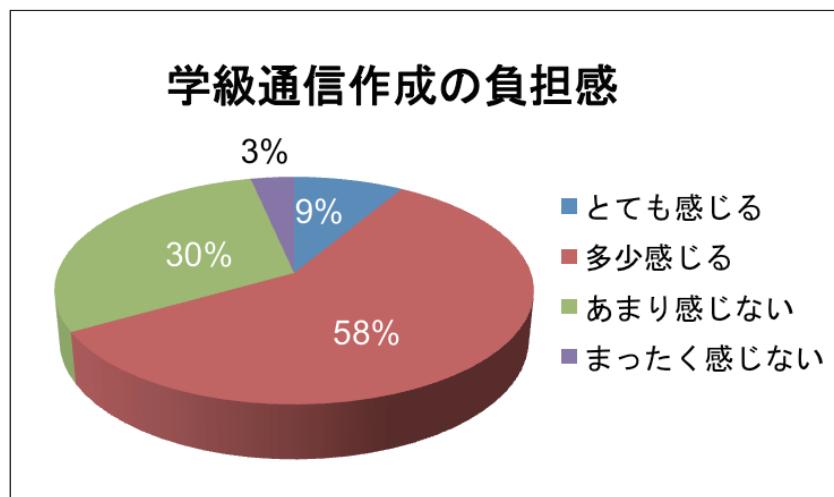
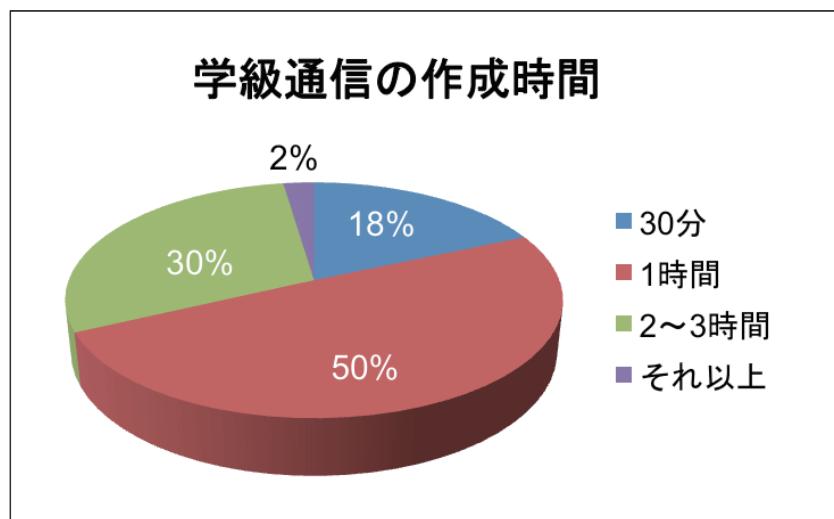
発行頻度は、「月1回」74%が群を抜いて多く、次いで「月2回」14%、「週1回」5%の順となっている。なお、「その他」には、ごく少数だが「日刊」「週2～3回」など学級通信のように頻繁に発行している学校、反対に「年1回」「学期に1回」など発行が少なめな学校、また、「随時」「不定期」「行事のあるごとに」など状況に合わせて発行している学校など、さまざまなケースが含まれている。



④ 半数の先生が「1時間」で作成、負担を「多少感じる」が58%

先生方は、学級通信の作成にどれくらいの時間をかけているのか。また、学級通信を作成することにどの程度負担を感じているのだろうか。

作成時間については、「1時間」と答えた先生が50%と最も多く、次いで「2～3時間」30%、「30分」18%。負担感については、「多少感じる」58%、「あまり感じない」30%との回答が多数を占め、「とても感じる」は9%と少数派であった。



ちなみに今回の「速報版」では示していないが、作成時間と負担感の関連性についてみてみたところ、作成時間が「30分」「1時間」「2～3時間」「それ以上」のいずれにおいても、負担感で最も多い回答は「多少感じる」、次いで「あまり感じない」であり、作成時間が長ければ長いほど負担感も強くなるという比例関係はみられなかった。

「負担には感じないが、時間に追われるなかで作らないといけないのが悲しい」といった書き込みもあり、忙しいなかであわただしく通信を作成せざるを得ない状況がうかがえる。先生の多忙化が呼ばれて久しいが、こうした状況が通信作成に関する負担感に少なからず影響を及ぼしているのではないかと考えられる。

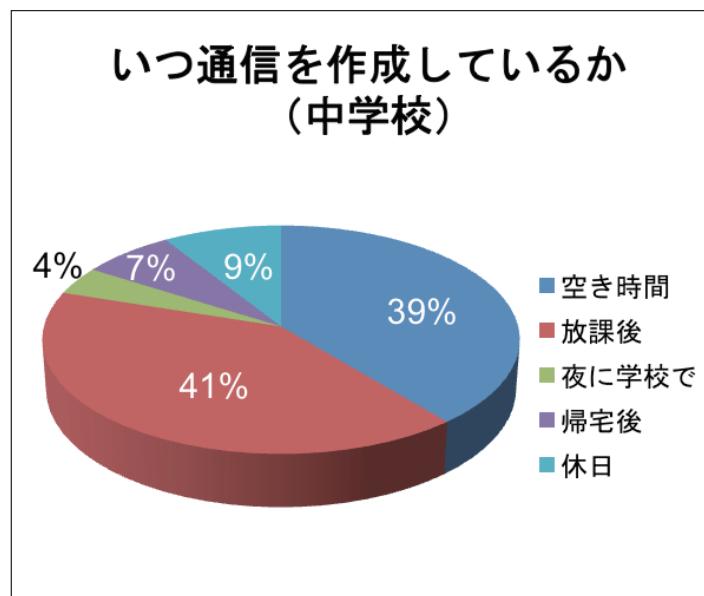
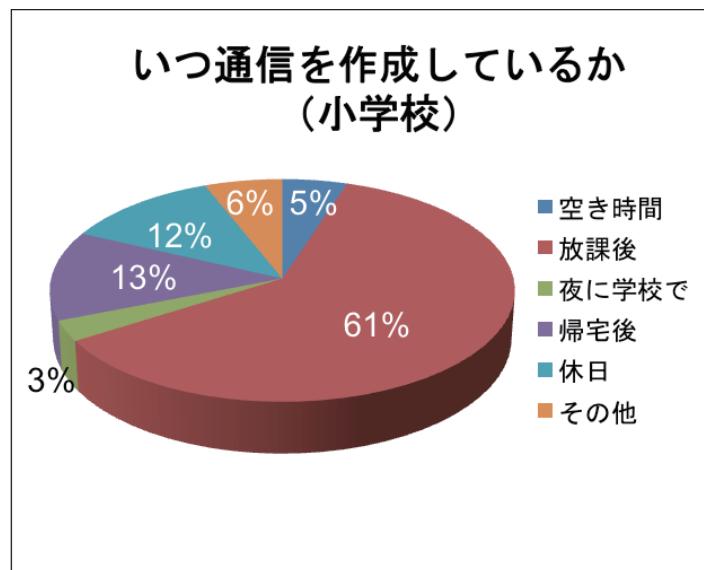
⑤ 4～5人に1人が勤務時間外に作成

学級通信や学年通信の発行は職務として定められたものではなく、いわばプラスαの活動である。「通信をいつ、どこで作成しているか」を調査した結果は、こうした通信の微妙な立ち位置を象徴する内容となった。

「夜に学校で」「帰宅後」「休日」に作成すると答えた先生は、小学校28%、中学校20%にのぼった。4～5人に1人が、勤務時間外に作成作業にあたっていることになる。

また、小学校では1位の「放課後」61%が群を抜いて多く、それ以外は低比率で大きな差はないが、中学校では、1位「放課後」41%と2位「空き時間」39%が拮抗する割合となっている。

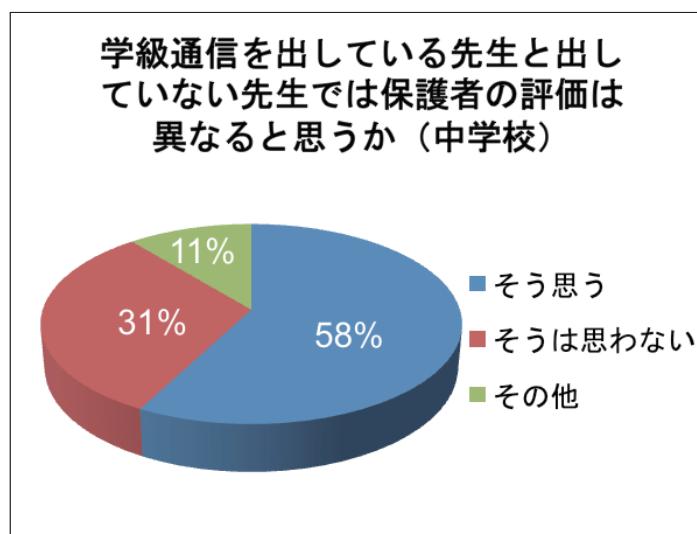
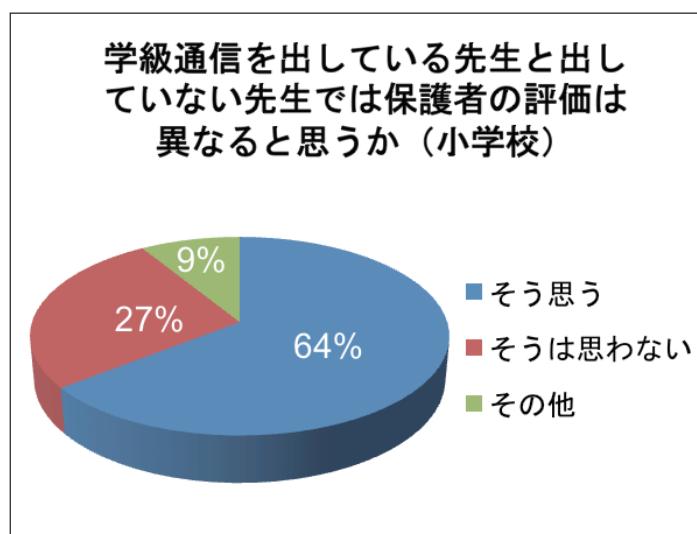
ここからみえてくるのは、放課後に部活で時間を割かれることの多い中学校の先生ならではの状況であり、教科担任制であることから授業の合間の空き時間を活用して通信を作成することが多いのだろうと推測される。



⑥ 学級通信を出している先生といない先生では、「保護者の評価は異なると思う」と管理職の過半数が回答

一般教諭対象のアンケートのなかに、「学級通信は先生の負担が大きい。あまり発行していない先生は、よく発行している先生と比較され、保護者の不信感につながってしまう。だから、学校全体で出さないように決めてほしい」という書き込みがあった。

この点について管理職の見解はどうか。「学級通信を出している先生と出している先生では保護者の評価は異なると思いますか?」と質問したところ、「そう思う」と答えた管理職は、小学校 64%、中学校 58%、ともに過半数を占めた。また、書き込み欄には、「保護者による学校評価アンケートの中に『学級通信で学級の様子がわかるのでありがたい』という意見があった」などの記述もみられた。

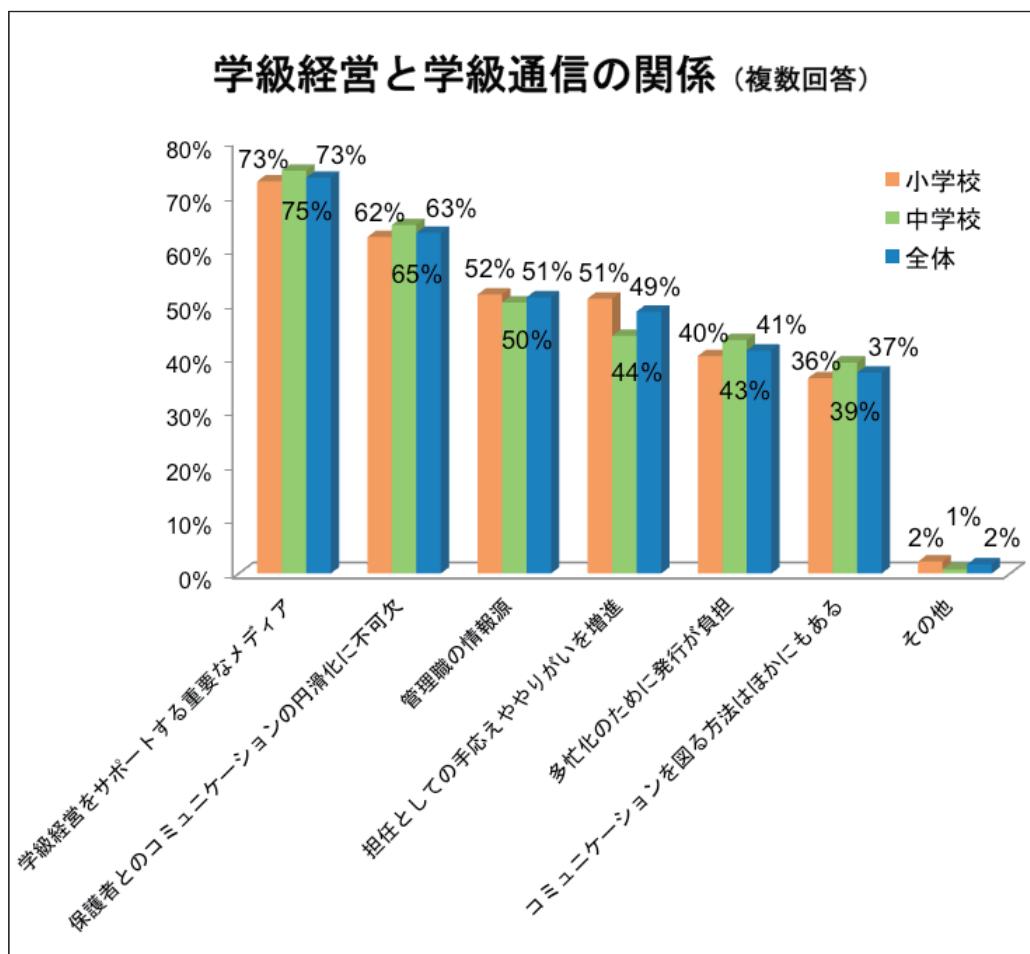


学級通信発行の有無や発行頻度に対する保護者や管理職の評価の目は、担任の先生にとって刺激になると同時にプレッシャーとなっている側面もあるようだ。なお、学級通信の内容や発行頻度の多さが、保護者にとって担任の評価につながるか否かについては、後日発表される「保護者対象のアンケート調査」結果で明らかにしたい。

⑦ 73%の管理職が、 学級通信は「学級経営をサポートする重要なメディア」と回答

管理職は、学級経営における学級通信の位置づけや意義について、どのように考えているのだろうか。下掲のグラフのように6つの選択肢+その他を提示して質問した（複数回答）。

結果は、1位「学級経営をサポートする重要なメディア」73%、2位「保護者とのコミュニケーションを円滑にするうえで不可欠」63%、3位「どんな学級経営をしているかがわかり、管理職にとっても貴重な情報源」51%、4位「学級通信を出すことで、保護者からの評価など、担任としての手応えややりがいを感じることができる」49%であった。多くの管理職が、学級通信を学級経営や保護者とのコミュニケーションに欠かせないメディアととらえていることがわかる。



一方、「学級通信を出さなくても、子どもたちや保護者とコミュニケーションを図る方法はある」と考えている管理職が37%、つまり3人に1人の割合でいることも明らかになった。

加えて、「その他」を選択した管理職の書き込みにも、「学級通信は学級経営のひとつの手段だが、重要な部分は他にある」「学級経営のひとつとして通信を重要視する教師もいるし、別の方で進める教師もいる。どのような方法でもよいと思う」「話が上手な人は子どもと話をして距離を縮めればよい。文章が得意な人は通信を出せばよい。自分の持味を生かすことが大切」といった意見が少なからずみられた。

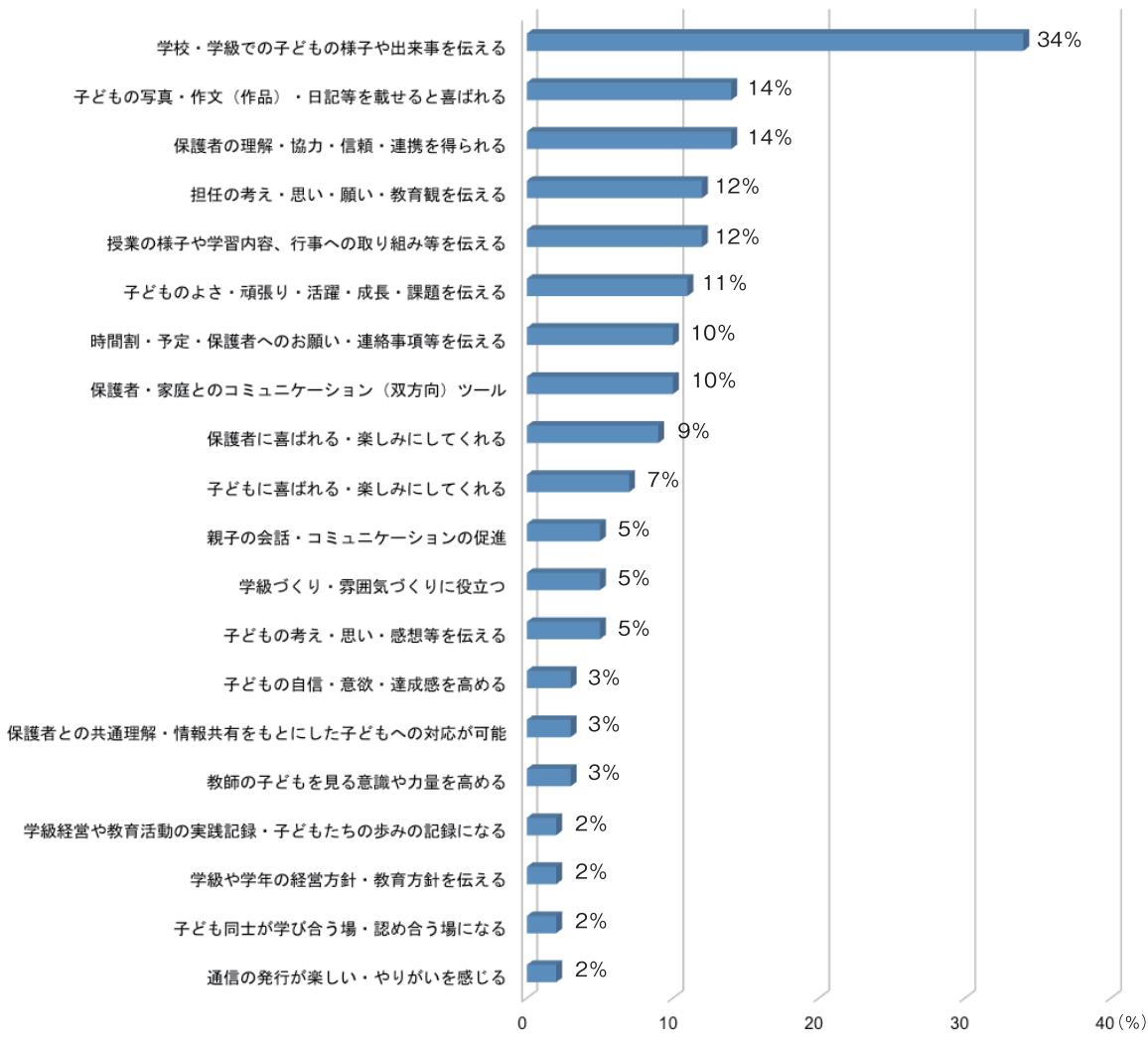
⑧ 学級通信の役割と効果

一般教諭対象のアンケートでは、最後に「通信づくりについて感じていること」という項目を設けた（自由記述式）。その集計結果を紹介しよう。グラフに示したのはトップ20だが、通信の役割と効果に関する書き込みの内容は多岐にわたり、分類すると35項目にも及んだ。

● 1位は「学校・学級での子どもの様子や出来事を伝える」

飛び抜けて多かったのは「学校・学級での子どもの様子や出来事を伝える」34%であった。次いで、「子どもの写真・作文（作品）・日記等を載せると喜ばれる」14%、「保護者の理解・協力・信頼・連携を得られる」14%、「担任の考え・思い・願い・教育観を伝える」12%と続くが、全体を通してみると、子どもに関する項目が多いことがわかる。

学級通信の役割と効果（一般教諭）



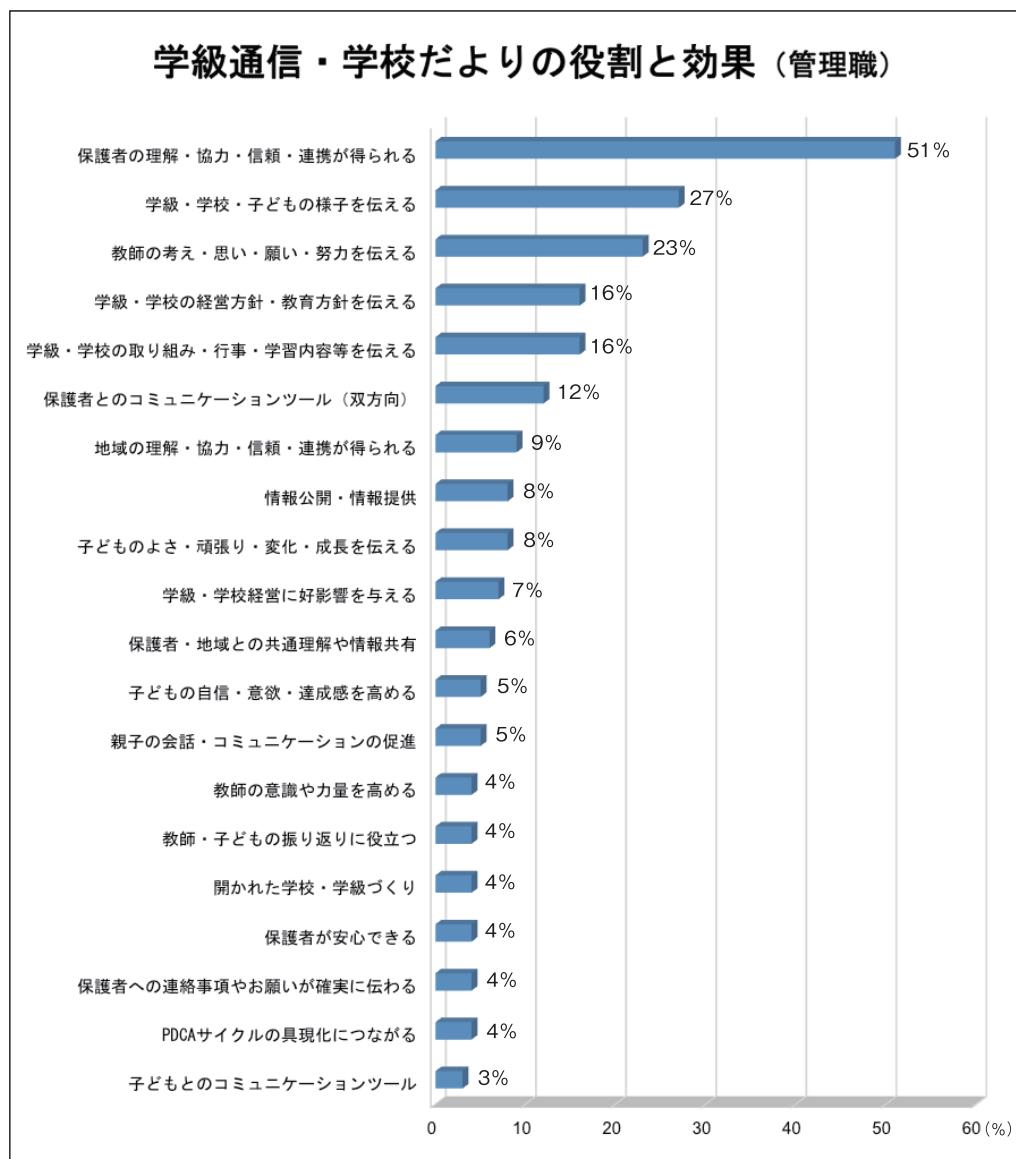
⑨ 管理職にとっての学級通信・学校だよりの役割と効果

管理職対象のアンケートでは、最後に「学級通信(学校だより)を出すことで、学級経営(学校経営)などにどのような効果があると思いますか?」という質問を設けた(自由記述式)。その集計結果を紹介しよう。

● 1位は「保護者の理解・協力・信頼・連携が得られる」

とりわけ多いのが1位「保護者の理解・協力・信頼・連携が得られる」51%だが、そのほか、6位「保護者とのコミュニケーションツール」12%、7位「地域の理解・協力・信頼・連携が得られる」9%など、いずれも学校と地域・保護者との関係を重視した項目であり、子どもに関する項目が多くたった一般教諭との違いが顕著になっている。

多くの管理職は、学級通信や学校だよりが、学校や教師に対する地域・保護者の理解を深め、相互の信頼と連携を築き上げるために有用であると考えていることがわかる。



一般の先生方へのアンケート

*学校で発行される通信類には「通信」「たより」などさまざまな呼称がありますが、当アンケートでは原則として「通信」を用いています。

Q1 先生のプロフィールについて教えてください

- ① 小学校教諭 中学校教諭 その他（ ）
② （ ） 年生の担任をしている 担任はしていない
③ 男性 女性 ／ 教職歴（ ）年
④ 勤務校の児童・生徒数（ ）人

Q2 学級通信と学年通信の発行について教えてください

*単学級の場合、「学級通信」と考えるか、「学年通信」と考えるかは、みなさまのご判断におまかせします。

① 現在、先生は学級通信または学年通信を発行していますか？

学級通信を 発行している 発行していない 以前発行していたが、いまは発行していない
 その他（ ）

学年通信を 発行している 発行していない 以前発行していたが、いまは発行していない
 その他（ ）

② 学級通信は発行したほうがよいと思いますか？

必ず発行したほうがよい できれば発行したほうがよい あまり必要性を感じない
 できれば発行したくない その他（ ）

③ 学年通信は発行したほうがよいと思いますか？

必ず発行したほうがよい できれば発行したほうがよい あまり必要性を感じない
 できれば発行したくない その他（ ）

④ 学年通信の発行を担当している先生は？

学年主任 同学年担当の先生が順番に その他（ ）

Q3 学級通信や学年通信を発行していない先生のみお答えください

① 学級通信を発行していない理由を教えてください（複数回答可）

学校の方針だから 学年で足なみを揃えないといけないから（自分のクラスだけ発行できない）
 管理職の添削や承認に手間がかかるから 学年通信の発行だけで十分だから
 必要性を感じない 作り方がわからない 時間がない 印刷経費の節減
 その他（ ）

② 学年通信を発行していない理由を教えてください（複数回答可）

学校の方針だから 学級通信の発行だけで十分だから 必要性を感じない
 作り方がわからない 時間がない 印刷経費の節減
 その他（ ）

Q4 学級通信や学年通信を発行している先生のみお答えください

- ① 先生が発行する学級通信のタイトルは？（ ）
先生が発行する学年通信のタイトルは？（ ）

② 今年度の発行頻度は？

学級通信を（年・月・週・日・不定期）に（ 回程度）発行している

学年通信を（年・月・週・日・不定期）に（ 回程度）発行している

③発行している通信の体裁は？

【判型】 B5 A4 B4 A3 その他 ()

【印刷面】 片面印刷 両面印刷 その他 ()

【刷り色】 モノクロ カラー 2色印刷 その他 ()

④原稿の作成方法は？

パソコン 手書き パソコン+手書き
 その他 ()

⑤印刷方法は？

学校の印刷機 パソコンのプリンター コピー機
 その他 ()

⑥学級通信の場合、どのような内容を掲載していますか？（複数回答可）

学級経営方針・教育観 子どもや保護者へのお願い 授業や学校生活の様子
 学級活動・学校行事への取り組み 子どもたちの写真 週間予定・月間予定
 時間割表 クラスマートの紹介 保護者の声 コラム（担任のひとこと・日記等）
 子どもの作品等 その他 ()

⑦学年通信の場合、どのような内容を掲載していますか？（複数回答可）

学年経営方針・教育観 子どもや保護者へのお願い 授業や学校生活の様子
 学年活動・学校行事への取り組み 子どもたちの写真 週間予定・月間予定
 保護者の声 コラム 子どもの作品等
 その他 ()

⑧通信を作成する時間はどのくらいですか？

（学級通信・学年通信）の作成時間は 30分 1時間 2～3時間
 それ以上 () 時間

⑨おもにいつ、どこで作成していますか？

（学級通信・学年通信）の作成は いつ ()
 どこで ()

⑩通信を作成することを負担に感じたことはありますか？

とても感じる 少し感じる あまり感じない まったく感じない

⑪通信を作成・発行するうえで大切にしていることは？（複数回答可）

定期的な発行 子どもの声や様子を伝える 保護者の理解を得る
 教師としての教育観や方針の伝達 学力向上 学級づくり（クラスの雰囲気づくり等）
 その他 ()

⑫通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは？

ネタ探し レイアウト 子どもの写真が掲載しにくい 管理職のチェックが厳しい
 保護者の反応・要求等
 その他 ()

⑬初めて通信を発行したとき、なにを参考にしましたか？

先輩の通信を見て インターネットで検索 通信づくりの本を見て
 その他 ()

Q5 「プリントコミュニケーションひろば」というコンクールをご存じですか？

知っている 応募したことがある (回) 知らない

最後に、通信づくりについて感じていること考えていることなどを自由にお書きください。

*例：通信発行による効果やメリット、子どもや保護者からの反応、初めて通信を発行する先生へのアドバイス……

A large rectangular area defined by a dotted-line border, intended for the user to write their responses to the questions above.

管理職（校長、副校長・教頭、教務主任等）の先生方へのアンケート

Q1 先生のプロフィール（役職など）について教えてください

- ①□校長 □副校長・教頭 □教務主任 □その他（ ）
②担任をしていた頃、学級通信を □積極的に出していた □ときどき出していた
□出さなかった □その他（ ）
③勤務校の児童・生徒数（ ）人

Q2 貴校で発行しているさまざまな通信類について教えてください

- ①先生の学校では、どんな通信が発行されていますか？
□学校だより □学年通信 □学級通信 □保健だより □給食だより □図書館だより
□その他（ ）
②学級通信を発行しているクラス数は？
() 学級中 () 学級で発行している
③通信類を事前にチェックする際のポイントは？
□目を通す程度で、基本的には自主性に任せている
□誤字・脱字の指摘程度にとどめる
□表現や内容にまで踏み込んで修正する場合がある
□その他（ ）

Q3 学校だよりを発行している場合のみお答えください

- ①学校だよりのタイトルは？ ()
②学校だよりを作成している先生は？ □校長先生 □副校長・教頭先生 □教務主任
□その他（ ）
③学校だよりの発行頻度は？ □月1回 □月2回 □週1回 □その他（ ）
④学校だよりを発行する主な目的は？ ()
⑤学校だよりの掲載内容は？（複数回答可）
□巻頭言 □学校の取り組み □子どもたちの様子 □学校行事の話題 □行事等の予定
□保護者へのお願い □社会の動き □ちょっとしたいい話
□子どもたちや保護者への励ましの言葉
□その他（ ）
⑥学校だよりを作成するうえでネタ集めとして工夫していることは？（自由記述）

- ⑦学校だよりを発行していて、「よかった」と思うのはどんなことですか？（自由記述）

Q4 学校だよりを発行していない場合のみお答えください

①学校だよりを発行していない理由を教えてください

- 時間がない 学校の方針だから 必要性を感じない 経費節減のため
- 講話だけで十分に伝わる
- その他 ()

Q5 学級通信や学年通信をとりまく環境の変化についてお答えください

①最近、学級通信を学年通信に一本化する動きがみられますか、どう思いますか？

- 学級通信と学年通信は、役割も位置づけも異なるので、別々に発行すべきだ
- 学年通信だけで十分だ
- その他 ()

②学級通信の掲載内容について、「学校側のチェックに時間がかかりすぎる」といった声もありますが、どう思いますか？

- 学級通信とはいえた公文書として外に出る情報だからチェックに時間がかかるのはしかたがない
- できるだけスピーディにチェックし、発行が遅れないように配慮すべきだ
- そのような問題は生じていない
- その他 ()

③同学年で学級通信を発行している先生と発行していない先生がいる場合、どのような対応をされますか？

- すべての担任に学級通信を出すように指導する
- すべての担任に学級通信を出さないように指導する
- その学年の自主性に任せる 各先生の自主性に任せる
- その他 ()

④学級通信を出している先生と出していない先生では、保護者の評価は異なると思いますか？

- そう思う そうは思わない
- その他 ()

⑤学級経営と学級通信の関係についてお答えください（複数回答可）

- 学級通信は学級経営をサポートする重要なメディアである
- 学級通信は保護者とのコミュニケーションを円滑にするうえで不可欠である
- 学級通信を読むとどんな学級経営をしているかがわかり、管理職にとっても貴重な情報である
- 学級通信を出すことで、保護者からの評価など、担任としての手応えややりがいを感じることができる
- 多忙化傾向にある先生方にとって、学級通信の発行が負担になっている面があると思う
- 学級通信を出さなくても、子どもたちや保護者とコミュニケーションを図る方法はある
- その他 ()

⑥学級通信（学校だより）を出すことで、学級経営（学校経営）などにどのような効果があると思いますか？（自由記述）